

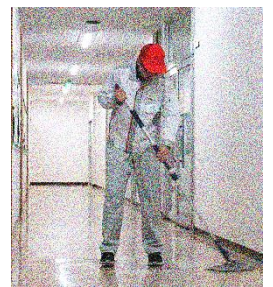


◇◇◇ 就業体験実習を終えて ◇◇◇

2年生は3回目の校内実習に挑戦しました。3週間の実習期間中、「毎朝、ベストの体調で出勤する」「最後まで正確に作業する事に従事する」「会社の一員として、信頼される製品作りに取り組む」を目標に行いました。一人ひとりの生徒が目標に向かって取り組めたと思います。9月の現場実習を意識して、自分の作業を正確に行いながら、周りの作業速度についていけるように必死に頑張っていました。実習を終えたときには全員が達成感と充実感を噛みしめることができました。長いようで短かった貴重な3週間、保護者の皆様の御協力、本当にありがとうございました。実習の様子を進路の掲示板に掲示してありますので来校の折にはご覧ください。



3年生は3回目となる現場実習が終わりました。今回は初めて3週間にわたる実習でした。2年生のときよりも期間が長くなり、多くのことを経験できたと思います。「前回よりさらに良くなった」「就職の見込みがある」との評価をいただく生徒も多くなっています。いよいよ進路決定に向けて本格的な検討が始まったと言えます。現場実習の目的の一つに、卒業後の具体的な自分の姿をイメージすることがあります。通勤の方法や所要時間の計画、体調や気持ちの管理、職場の方とのコミュニケーション、週末の過ごし方等を具体的にイメージしていくことが、安定し充実した職業生活を送ることにつながっていきます。



【PTA進路見学会】

6月25日(木)に42名が参加し、福祉及び一般事業所の2カ所を見学し、研修を深めました。

○「株式会社アイチコーポレーション」→高所作業車などの特殊車両を製造している会社です。見学会では、製品の出荷作業などを行う物流部門と、溶接や塗装を行う製造部門を見学しました。この春入社した卒業生は物流部門で、製品のピッキングや工場内の清掃を担当しているとのことでした。元気な声と丁寧な作業が評価され、活躍しているそうです。現場実習は、しっかり目標をもって臨むことが大切だと話していました。

○「ぶどうの木」→社会福祉法人キャッチジャパンが運営する、生活介護と就労継続支援B型の事業所です。生活介護では、紙ちぎり(コースターの材料)や利用者さんに応じた活動をしていました。B型事業では、シャープペンシルの組立やアルミはがし、自動車部品のシール貼り作業、パソコンの解体などを行っていました。本校の卒業生も多く利用しており、自分の特性に合った仕事や活動に集中して取り組んでいました。



7月の主な進路行事



○ぐんまアビリンピック2026(4日)

高崎市のポリテクセンター群馬にて、ぐんまアビリンピック2026が開催されます。本校からはクリーンサービス班の生徒が喫茶サービス競技とビルクリーニング競技に出場します。今まで頑張ってきた成果を存分に発揮してほしいと思います。

○就労定着支援進路先訪問(22日・23日)

卒業生の進路先を訪問し、卒業生本人及び進路先の現状を把握し、卒業生の社会生活が円滑なものとなるよう、卒業生や進路先に対し可能な支援を行います。また、進路先で得られた情報等を在校生への指導に生かし、進路指導の充実を図るとともに、進路先と学校で、緊密な連携を取れるようにしています。